



第383号
2024年7月23日

愛教労NEWS

愛知県教職員労働組合協議会

Topic 1

中教審「審議まとめ」に異議あり!!

教職調整額10%以上……を、現場の教師は求めている!

教育予算増、教職員定数増、20人規模の学級定員減こそ、
教育を良くする国民の声!! 学校を救う道!!

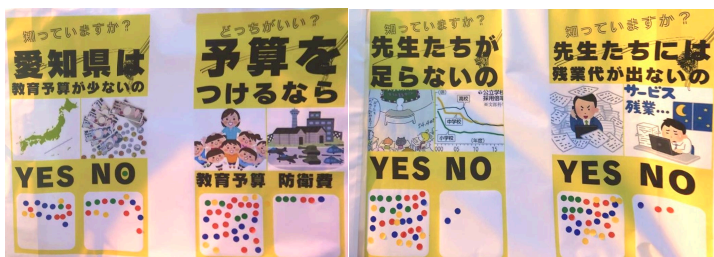
梅雨が明け酷暑の迫る夕刻、名古屋駅桜通口にて大宣伝活動が行われました。

7月18日、愛労連に結集する教育関係労働組合〔愛教労・愛高教・名高教〕が産別組合役員らの応援を得て、リレートーク形式のマイク街宣、ティッシュチラシ配布、えがお署名要請、シール投票等の宣伝活動を行いました。愛教労からは14名、総勢40名が参加する大宣伝となりました。

5月13日、中央教育審議会〔中教審〕が、令和の日本型学校教育……総合的な方策「審議まとめ」を文科省に答申しました。60ページ余りに及ぶこの長大な「論文」は、前段で日本の高水準の教育が、教員の「献身的な努力」により担われているとしつつ、現代の社会的環境の変化に対応するため常態化した長時間過密労働により教員志望者が減少し教員不足につながっていると分析しています。こうした状況を「わが国の未来を左右しかねない危機的状況」にあると指摘し、その対策として働き方改革の推進や教職員配置のあり方の見直しに言及していますが、従来の対策の域を出ない策が並びます。

そして問題なのは、後段において1971年から変更されなかった4%の教職調整額を、業務内容の変化を無視して時間のみで算定し、「10%以上」とすることで教員の意欲を高めるとしていることです。時間外手当がなく働かせ放題の現状は改善が必要ですが、調整額の増額のみ対策は、現状の教員の異常な長時間労働を固定化し、是認することにつながるの明らかです。現場の多数の声は、わずかな賃上げで今の働き方を続けることを求めています。行き届いた教育のため、教員が人間らしく働けるようにするため、抜本的な教育予算増と教職員定数増、学級定員の削減でOECD諸国並の20人学級を実現することを求めています。

【議長：岩澤】



事務所住所：〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-26
大須土方ドリームマンション 801 HPはこちら
TEL：052-242-4474
FAX：052-242-2938
Mail：aichi@aikyourou.jp
URL：http://www.aikyourou.jp/



愛知県における任意団体等による
「名簿・金品授受」
に関するアンケートはこちら▶

